

第2期北海道千歳市基本計画の概要

令和6年6月21日同意

計画のポイント

千歳市の製造品出荷額は、令和3年の経済センサス-活動調査において全道35市中第5位である。製造業のうち、電子部品・デバイス・電子回路製造業は全道35市の中で付加価値額が第1位であり、同産業分野の企業集積により、多分野多品目の製造開発にも対応できる基盤が存在する。また、食品製造業の付加価値率は全国平均よりも高く、良質な水資源、充実した物流インフラを背景に、多くの食品製造業が集積している。

これら産業特性の他、豊富な観光資源（支笏洞爺国立公園等）と物流面でのメリット（新千歳空港、道央道等）、高度な理工学人材を輩出する公立千歳科学技術大学が存在しており、こうした地域の特性・強みを活かし、食料品製造業、デジタル関連産業、電子部品・デバイス・電子回路製造業をはじめとするものづくり関連産業、物流関連産業及び観光関連産業のさらなる付加価値創出を目指す。

促進区域

北海道千歳市

経済的効果の目標

- ・成長ものづくり関連分野等では、1件あたり平均190百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を7件創出。
- ・観光関連分野では、120百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を1件創出。
- ・これらの地域経済牽引事業が促進区域で成長ものづくり関連分野等で1.451倍、観光関連分野で1.393倍の波及効果を与え、促進区域で**約2,100百万円の付加価値を創出**することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～⑥のいずれか）】

- ①千歳地域の新千歳空港等のインフラを活用した食料品製造業関連分野
- ②千歳地域の新千歳空港等のインフラを活用したデジタル関連産業
- ③千歳地域の公立千歳科学技術大学の人材を活用したデジタル関連産業
- ④千歳地域のデジタル関連産業等の集積を活用した成長ものづくり関連分野
- ⑤千歳地域の新千歳空港等のインフラを活用した物流関連分野
- ⑥千歳地域の新千歳空港等のインフラ及び観光地域資源等を活用した観光関連分野

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：4,611万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- ①売上：(成長ものづくり関連分野等)13.9%増加
(観光分野)11.9%増加
- ②取引額：(成長ものづくり関連分野等)13.9%増加
(観光分野)11.9%増加
- ③雇用者数：(成長ものづくり関連分野等)25人以上増加
(観光分野)5人以上増加

制度・事業環境の整備

- ・不動産取得税等の減免措置
- ・地域企業販路開拓支援事業
- ・市内立地企業の事業内容及び製品のデータ公開
- ・事業者からの事業環境整備の提案への対応
- ・千歳市工業等振興条例の整備・施行による支援
- ・北海道産業振興条例に基づく助成措置
- ・立地企業フォローアップ事業の展開

《促進区域図》



地域経済牽引支援機関

公立千歳科学技術大学、(株)千歳国際ビジネス交流センター、千歳商工会議所、(公財)道央産業振興財団、(一社)千歳観光連盟

計画期間

計画同意の日から令和11年3月末日